

あの頃の津山

苦田郡役所 (大正末期頃)

写真提供・江見写真館



写真は、現在の美作県民局（山下）が建っている場所にあった苦田郡役所です。この写真は、大正末期に作られた『津山町写真帳』に収録されていることから、撮影時期は大正末期頃だと思われます。

明治から大正にかけての一時、県と町村の間に立つ地方自治体として「郡」が存在していました。

明治11年には、旧阿波村・旧加茂町・旧津山市の一部・現在の鏡野町の範囲で、東北条郡・東南条郡・西北条郡・西条郡の4つの郡が設置され、それぞれに郡役所が置かれていました。その後、明治27年には、4つに点在していた郡役所を1つの合同庁舎としてまとめた建物が山下に設置されました。

明治33年の郡制の施行により、4つに分かれていた郡は1つに統合され、地方自治体としての苦田郡が誕生しました。そして、既に山下に設置されていた合同庁舎がそのまま苦田郡役所として使用され、郡議会が開かれるなど、地方自治体としての機能を持つことになりました。

しかし、当初から郡制不要論が唱えられていたこともあり、大正12年に郡制は廃止されました。その後、大正15年にはこの苦田郡役所も廃止となり、建物は県に移管されました。そして、苦田郡という言葉は、行政区画ではなく、地理上の区画で使われるだけの名称となりました。

短い期間ではありましたが、かつて存在していた苦田郡役所の様子を知ることができる貴重な一枚です。

このコーナーに掲載する懐かしい

津山の写真を募集しています

関津山郷土博物館 ☎ 22・4567



現在の美作県民局（山下）

今月の表紙

津山市の新しい顔と
なるロゴマーク誕生

11月24日発表

つやき
編集室

新年明けましておめでとうござ
います。これまで広報つやまでは、
毎月20日〜翌月19日頃の内容を掲
載していましたが、今月号から、
発行月の1日からの内容を掲載す
ることになりました。発行月と掲
載内容の時期を一致させることで、
より多くのみなさまに活用してい
ただきたいと願っています。(W)

最近、イソップ寓話の『アリと
キリギリス』の話をよく思い出
します。暖かい季節に、冬支度を
頑張ったアリが暖かい冬を過ごす
という話です。暖かい季節に
薪ストーブ用の薪を準備しただけで、
もう来年の薪を準備しなければな
らないため、冬も働いているわ
たし。アリよりも働いている…(雨)

毎年、家族で恩原高原スキー場
などに行って、スキーを楽しんで
います。一面真っ白な雪で銀世界
となったコースを、上の方から勢
いよく滑り出し、S字の弧を描き
ながらキューンと滑り降りる爽快
感がたまりません。そして、スキ
ーを楽しんだ後の温泉が、すこ
く幸せな気分してくれます。(ゆ)

編集・発行

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページ
で閲覧できます

<https://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページ

☆秘書広報室のフェイスブック
はこちらから
<https://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



秘書広報室フェイスブック



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください